



10月の園だより

令和8年10月1日
目黒区立祐天寺保育園園長

～心と体で思いきり楽しもう～

今年は夏の終わりから秋の長雨がっていますが、子どもたちは雲の間から少しでも陽の光が見えると元気に庭や散歩先へと飛び出しています。雨上がりで水たまりができていますと自然とどろんこ遊びが始まったり「見て、ダンゴムシがいっぱい」と友達と頭を近づけてプランターの下を覗き込んだりと、どんな天候でも遊びに展開できる子どもたちのエネルギーを感じています。

また、園内では子どもたちの声に伴奏するように色々な音が聴こえて来ます。ある日のホールでは1、2歳児クラスと一緒にリズム遊びをしていました。ピアノの音に合わせて保育士や2歳児が動く姿をじっと見つめる1歳児の表情は真剣そのものです。自分の好きな動き（めだかやうさぎ、とんぼなどが人気です）が始まると真似っこしながら楽しさを表現しています。ついこの間までよちよち歩きをしていた子が、友達や保育士の姿を見て「やってみよう」と、小さな心と体が動いているのを身近で感じた瞬間でした。リズム遊びの最後は「がんばりまん」を歌ったのですが、その日の楽しさを伝えるように、一人の1歳児が2歳児の子どもたちの前に立ってまるでタクトを振るようにする姿にみんなの笑顔が一つになりました。運動会では、そんな子どもたちの「好きなこと、やってみたい遊び」から保育のアイデアを広げて色々な運動遊びを表現します。地域のお子さんが参加できる競技もありますので是非、みなさまのご来場をお待ちしています。

〈10月の行事予定〉

運動会（2・3・4・5歳児）
内科健診（全園児）
幼児お楽しみ会（3・4・5歳児）
↑年間行事予定と変更しています
芋ほり遠足（4・5歳児）
焼き芋会（芋ほりが雨天時は延期）
避難訓練・身体計測



幼児クラス（3・4・5歳児）

—いっしょにやろう！—

午睡明けに、毎日、3、4、5歳児クラスでリズム遊びをしています。ピアノの音に合わせて、走る、跳ぶ、四つ這い、しゃがむなど全身を使った運動をしています。まずは年長のきりん組（5歳児）が動くと、それを真似ようとうさぎ組（4歳児）、りす組（3歳児）も続いてやってみるのがいつもの流れです。今はその中で「兄弟すずめ」も楽しんでいます。3、4、5歳児で3～4人の「兄弟」になり、スキップで飛び立ってはまた兄弟が集まるという遊びです。きりん組（5歳児）が「兄弟たち」を迎えに行き「いこう」「一緒にやろう」と手を差し出すと、いつものリズムでは恥ずかしくて出て来られない子も、照れながら嬉しそうに手を引かれて参加しています。自分のペアの友達が上手く見つけられず、はぐれてしまいそうになると5歳児が「こっちだよ」「おいで」と声をかけてくれるので、安心してスキップしながら飛び立って行く3、4歳児の子どもたちです。



0・1・2歳クラスの室内遊びの様子をお知らせします

ちゅうりっぷ組（0歳児）



「はいるかな～はいるかな～」

穴が空いていると、なんでも入れてみたくなります。指、チェーリング、布、いろいろなものを入れては出して、試して遊んでいます。新たに出したキューブ型の木の玩具「リグノ」は真ん中に円柱があり、その円柱がするっと抜けます。円柱が抜けたリグノを持ち上げては、“あれ？”と中をのぞきこんで笑っています。ある時、保育士がリグノを3つ積み重ねて中にそっと円柱を入れて見せると、スココーンと音を鳴らして落ちて見えなくなりました。そばで見ていた子が「お～」と目を丸くさせて上からのぞきこみ、その行方を探しています。そして自分もやってみようと円柱を落としていました。同じように音を鳴らして見えなくなると、嬉しそうに保育士に笑いかけていました。面白さを感じて人差し指を立て“もう1回”と保育士にリクエストし、繰り返し保育士と落とし遊びを楽しんでいました。穴に入れたらどうなるか？一つひとつの発見を大切に今後も楽しんでいきます。



たんぽぽ組（1歳児）



「ぴっ！してあっためよう」

ままごと遊びでは、チェーリングやお手玉など様々な玩具を食材に見立て、料理することを日々楽しんでいます。ある日、かまぼこ板をお皿に乗せると、棚の中に置いている子がいました。しばらくすると「パンあったかくなった」と言って保育士に知らせています。棚を電子レンジに見立てて遊んでいたようです。そのような子どもたちの姿が自然と増えていったので、部屋に段ボールで作った電子レンジを設定しました。

「ぴっ！」とボタンを押す仕草をしたり、蓋を動かして中を覗いてみたり、「あちち」と嬉しそうに取り出したり、お家でお母さんやお父さんが料理する姿を真似しながら遊んでいます。これからも子どもたちが好きなことを十分にできるように、楽しい気持ちに共感しながら一緒に遊んでいきます。



ひまわり組（2歳児）



「いっしょにあそぼう」

積み木と木製の動物を組み合わせておうちごっこをする子がいました。それを見ていたもう一人の子も同じように動物を持ってきて「いっしょにあそぼう」と声をかけています。「いいよ」と受け入れてもらおうとキリンを連れて「ただいまー」と言いながら積み木の家に入れておうちごっこがはじまりました。「ここがいたいんです」とトラの足の怪我を治療してもらったり、ご飯を食べたりしながらやりとりを楽しむ二人でした。また、別の場面では井形ブロックを組み合わせて二人で一つの車を作っています。

「こうじゃない？」「ここをくっつけたら？」など思いを言葉にしながらよりかっこいい車を作ろうとしていました。自身が体験したことや身近な生活を再現し、そのイメージを友達と共有しながら遊ぶ中でだんだん「友達と一緒に」が楽しくなってきた姿があります。これからも保育士も一緒に遊びながら友達との関わりを楽しめるようにしていきます。

